

3組 特別支援学級

自立活動による「学び合い」と「自尊感情の高揚」

田村 雅彦

自閉症・情緒障害学級に2年生男子2名が在籍し、通常学級男子1名と女子1名の計4名で自立活動を実施している。自立活動の時間の初めに、学校や家庭の話題や最近のニュースで感じたことなどを意見交換する時間を設けている。2学期に入り、進路への関心が高まってきており、職業や進学に関する話が多くなってきた。しかし、基礎学力が十分に身に付いていないため、将来や学習の不安を口にしたり、意欲が低下したりする生徒が見られる。また、思ったことをすぐ口に出してしまう生徒もいる。自立活動の時間では、主に協働的な学習による学び合いを通して自尊感情を養って自信を持たせ、主体的に活動する生徒の育成を目指したい。

1. はじめに

「心を安定させて生活する」「目標を持って生活する」「成功体験を味わって自信を持つ」など、自立に必要な経験を通して自尊感情や自己肯定感を高めていきたい。以下のような、【ねらい】を意識して自立活動の実践を行った。

【ねらい】

協働的な学習 で 学び合い

個人の学び ⇔ みんなの学び

個人の成功体験 ⇔ みんなの成功体験

個人の自尊感情 ⇔ みんなの自尊感情

2. 学びの実際

(1) フリートークで雰囲気づくり

自立活動が始まって最初の頃は、新任教師が担当することもあって、会話も弾まず、反応もほとんどない状態であった。まずは気軽に会話できる雰囲気づくりのため、授業のはじめにフリートークの時間を設けた。部活動や習い事の話題、新型コロナウイルス関連、総理大臣やアメリカ大統領選挙、芸能関係、アニメ、音楽など話題は多彩である。仲間同士の関心事や趣味を紹介して共有し合うこの時間は和やかな雰囲気になっている。特に趣味の話は、興味の高い内容となるので、楽しんで話をする姿が見られる。教師も生徒と同じようにニュースや昔話を中心に会話を楽しんでいる。また、しっかり話を聴いて受容する姿勢を大切にしている。「なるほど、そうなんだ」「すごいね、頑張ってるね」など肯定的な言葉で受け止めるよう心がけている。今後も温かい雰囲気の中で自由な会話を継続することで心の安定につなげたい。以下にフリートークの内容を簡単に紹介する。

次郎：部活動や校外活動の練習、試合のことをよく話す。土日の疲れを訴えることもあるが、「きのう、このフォームでホームラン2本打った」など、自分が活躍し

た場面を身振り手振りで表現しながら得意げに話す。

星光：自分から話題を切り出すことは少ないが、みんなの話をよく聴いていて、短い言葉であるが、「それはそういうことなのか」など感想をつぶやくことが多い。進学への不安を口にしますが前向きにとらえていると感じる。

雅貴：プラモデルやジオラマなどのものづくりやアニメの話題になると積極的に話をする。最新のニュースにも関心があり、「あーそれは、〇〇だからだよ」と自信を持って話す。

花美：芸能関係や衣食の話題などが中心で、「〇〇のタピオカがおいしい」など、表情豊かに話をしている。みんなに「△△についてどう思う？」など問いかけることも多く、会話の中心となっている。

以前は、会話の中で他人を批判する発言が見られた。そうしたとき、花子が「それは、言い過ぎだよ」とさりりと注意する場面もあり、自立活動の時間を大切にしようとしているのを感じる。そのためか最近では批判的な言動はほとんど見られなくなっている。このようなコミュニケーションを通して、他者との関わりを学ぶ場になっている。

(2) 進路調べで学び合い

フリートークが活発になって、進路の話題が多くなってきた。「将来何になるかまだわからない」「仕事って大変そう」「ユーチューバーは儲かるのかな」という発言もあって、職業調べを企画した。家族の職業や関心のある職業を選び、仕事内容や苦勞、やりがいなどをインターネットで調べ、プレゼンテーションソフトでまとめた。職業に関する画像の貼り付けやアニメーション加工に戸惑いながらも、

そのつどお互い質問し合いながら、意欲的にまとめる姿が見られた。

その後の発表会では、わかったことや感じたことを付箋にメモして、それをもとに伝え合うことができた。学びの共有化を図ったことで、職業への理解と関心が高まった。また、発表の準備時間をしっかりとることで自信を持って発表でき、一つの成功体験となった。今後、高校調べも行って卒業後の進路についていっしょに考えていきたい。



職業調べの様子

「職場調べの発表会 生徒の会話より」

その1

次郎はソフトボールの実業団チームを抱える職場を調べ発表した。得意のソフトボールの活動を中心とした発表なので意欲的に発表する姿が見られた。

雅貴：仕事とソフトボールの両立ってすごいな。体は疲れるね。自分ならできないな。

星光：土日も練習、遠征で休みなしだね。

次郎：ほくも部活とソフトボールの両立なので疲れるよ。でも、よい結果がでるとうれしいんだ。

花美：グローブやバットって高そう。

次郎：そうだよ。先週スポーツ用品店に行ってグローブを見に行ったよ。高いんだ。この写真のグローブから見える黄色いボールは3号級で大きいんだよ。これぐらい。それをこうやって投げる。

(と言って、手でボールを握ってスローイングのパフォーマンスをする。)

この実業団は〇〇県にあって全国で有名なチームだよ。自分はこのチームにあこがれているんだ。

教師：次郎さんはすごいよね。部活だけでも大変なのに、ソフトボールもしているんだから。しかも両方で活躍しているよ。疲れるけど得意なことがあっていいよね。

次郎は大好きなソフトボールの実業団を抱える職場の紹介ができて、満足感を抱いた表情であった。

その2

星光は建築士について調べ、発表の中で一級建築士と二級建築士について紹介した。発表後の質問で、

花美：一級と二級建築士の違いって何？

星光：二級建築士は、ビルなどの大きな建物が建てられない。一級はこの写真のような大きな建物が建てることができる。

雅貴：一級建築士はどうやって資格を取るの？

星光：まず二級建築士の資格を取って、しばらく働き、そのあとに一級建築士の資格が取れる。でも取るのは難しいらしい。

雅貴：へー、それは大変そうだな。

教師：そうだよ。一級建築士はなかなか取れない。先生の友達も二級を持っていて、一級に何回もチャレンジしているって話を聞いたことがあるよ。

みんな：そうなんだ。

星光は発表前、「緊張する」と声にしてしたが、熱心に準備していたこともあり、いつもの話口調よりも力強く発表していた。プレゼンテーションの中で、美しい建築物の写真を紹介しながら発表した。

花美：ビルの写真が見やすくてきれい。

雅貴：今の発表はビルなどの建築物の写真が画面に出ていてわかりやすかった。自分の発表は写真を入れずに文字だけだった。プレゼンは文字と写真などの情報をバランスよくして、見やすくつくといいんだ。

教師：そうだね。プレゼンは見やすさ、わかりやすさが一番です。今度の高校調べでは、その点に注意して作成しよう。

雅貴はプレゼンで文字情報ばかりになってしまいわかりにくかったのではないかという反省が口に出たようである。プレゼン作成に関しては、教師から、「文字と写真などの情報で作成する」「文字数を最小限にして大きくする」とアドバイスしてきた。星光の発表を聴いて、理解することができたようである。みんなの発表から学びがあった瞬間であった。

○職業調べの学習後の感想から、

- ・「初めてのプレゼン発表だったけど、大きな声で発表できてよかった」
- ・「質問されてははじめは戸惑ったけど、自分の

言葉で答えられてよかった」

- ・「どの仕事も資格が必要なこと、やりがいや大変なことがあることがわかった。」

など、自分の関心が高い職業を発表できたことで、小さな成功体験を感じたようである。こうした学び合いを継続し自尊感情の高まりにつなげたい。今後、高校調べや自分の将来について考える場を設けたい。

反省点は、教師が発表をフォローしようとして口を出し過ぎたことである。生徒による学び合いの中で気づきを伝え合っているの、生徒の発表をしっかりと傾聴する姿勢だけでよかったように思う。

職業調べ指導案

3組 自立活動指導案

令和2年 11月26日(木) 第3校時
場所 3組教室
授業者 教諭 田村 雅彦

1 単元名 職業について調べよう

2 単元について (4/5時間)

特別支援学級2年生男子2名と通級学級の男子1名、女子1名の計4名で自立活動を実施している。自立活動の時間は、最近の話題やニュースなどで感じたことを意見交換しているが、思ったことをすぐ口に出す生徒もいるため、発言には留意するよう指導している。2学期に入り進路への関心が高まってきており、職業や進学に関する話が多くなっている。
本単元は、関心のある職業について調べ、将来について考える。インターネットの活用や家族から聞き取った内容をプレゼンテーションソフトでまとめる。文字や画像の配置など、見やすいレイアウトを意識させる。調べたことの発表を通して、仕事のやりがいや苦労などの共有を図る。
本時の発表で、わかったことや感じたことを相手に伝えるコミュニケーション力の向上につなげ、自尊感情の高揚を図りたい。他人の発表を聞いて感じたことを付箋に短くメモさせて、相手に伝える一助としたい。

3 本時の目標

・職業調べの発表を聞いて、わかったことや感じたことを相手に伝えることができる。【6コミュニケーション(5)】

A(男)	自信を持ってわかったことを伝えることができる。
B(男)	誰か書いてわかったことを伝えることができる。
C(男)	自分の言葉でわかったことや感じたことを伝えることができる。
D(女)	自信を持ってわかったことや感じたことを伝えることができる。

4 本時の学習過程

学習活動と予想される生徒の反応	教師の支援(○)と評価(☆)
○本時の学習の流れを確認する。	○黒板に本時の流れを掲示する。
職業調べを発表しよう	
○発表の準備をする。	○各自で最終確認と発表練習をさせる。
○プレゼンテーションソフトを活用して調べたことを発表する。	○自分のペースを大切に発表させる。 ☆各自の目標を意識して発表しているか。(観察)
○発表を聞いて、わかったことや感じたことをメモする。	○付箋に短くメモさせる。 ☆付箋にメモすることができたか。(付箋)
○わかったこと、感じたことを発表する。	☆付箋をもとに発表することができたか。(付箋)
○付箋を発表者に渡す。	○もらった付箋をワークシートに貼り付けさせる。
○本時を振り返り、次時の確認をする。	○活動を振り返り、自己評価させる。

5 授業の観点

付箋にメモして発表することは、わかったことや感じたことを相手に伝えることに有効であった。

ワークシート

職業について調べよう

2年 各組

職業名「パティシエ」

- インターネットで調べて、プレゼンテーションソフトでまとめよう
- 発表しよう

目標「わかりやすくパティシエについて、
「調べた事をみんなに伝える」にする
- 発表を聞いて、わかったこと、感じたことを、付箋にメモしよう
- わかったこと、感じたことを、みんなに伝えよう
- みんなからの付箋を貼ろう

この職業を調べてみました。パティシエは、お菓子を焼いたり、飾ったりする仕事です。パティシエは、お菓子の味や見た目、お菓子の種類などについて、お客さんに説明したり、お客さんの要望に応えたりします。	パティシエは、お菓子の味や見た目、お菓子の種類などについて、お客さんに説明したり、お客さんの要望に応えたりします。	パティシエは、お菓子の味や見た目、お菓子の種類などについて、お客さんに説明したり、お客さんの要望に応えたりします。
---	---	---

- 振り返ろう

・目標どおりに発表することができましたか	A () B () C () D ()
・友達の発表をしっかりと聞くことができましたか	A () B () C () D ()
・わかったことや感じたことを付箋にメモすることができましたか	A () B () C () D ()
・わかったことや感じたことを伝えることができましたか	A () B () C () D ()
- 感想を書こう (自分が発表したこと、みんなの発表を聞いて感じたことなど)

わかりやすく発表することができたので、自信を持って発表することができた。

(3) 数学の学習で学び合い

数学に苦手意識を持っており、簡単な計算問題にも戸惑う場面が見られる。理解できたかどうか確認しながら、ゆっくりとしたペースで学習を進めるが、分数計算や負の数の概念を振り返ることも多い。時に「この問題、むずかしい、無理」など、素直な言葉も出る。

ある日、一次関数の学習の場面で、以下のようやりとりがあった。

星光：この問題わからない。

星光はそう言って机にうつ伏せる。

次郎：自分はわかったから教えてやるよ。

次郎は星光の机に近づく。

次郎：どこがわからないのや？

星光：この問題がわからない。

次郎：これはこうして解くんや。

次郎はホワイトボードに移動し、説明しだした。

次郎：この式は、まず括弧をはずして。次にyを左辺にもっていくんや。そして、こうやって計算して……

雅貴：おお、なるほど。

花美：括弧はずすところからもう一回教えて。

次郎はもう一回説明する。

次郎：みんな、わかった？

みんな：うん。

この次郎の行動にはびっくりすると同時に、みんなへの心遣いを感じ、うれしく感じる瞬間であった。「わかりやすい説明だね。学び合っていていいね」という言葉でねぎらった。

このあと、お互いに質問して学び合う場面が多くなった。このように主体的に学びを共有しながら自尊感情を高めていきたい。



学習の様子

(4)生活の振り返り（自己評価）

さらによりよい生活を目指して、生活のアンケートを実施している。自分の生活や活動を振り返り、具体的な目標を持って実践しようとする態度を身に付けさせたい。

今年は9月、12月、3月に実施して今後の生活についてアドバイスする時間を設定した。「よりよい生活を送るためにはどうしたらよいか?」「このようなときはどうしたらよいか?」など、一緒に考える時間が十分にとれなかった。今後評価をもとに話し合う時間を多くして、さらによりよく自立しようとする態度を養いたい。

生徒の振り返り表

生活や学習に関するアンケート 9月		2年 氏名 _____	
次の質問に答えてください。			
生活		該当するところを○で囲んでください。	
1 朝食は毎朝食べている	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
2 遅刻せずに登校している	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
3 あいさつ(親、友達、先生)をしている	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
4 身なりを整えている	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
5 自分勝手な行動をしてしま	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
6 他人のことも大切に考えて行動している	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
学習、授業			
1 教科書やノートなどの学習用具を準備している	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
2 話をしっかりと聞いている	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
3 当てられたら答える	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
4 わからないところは質問している	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
5 周囲の私語が気になる	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
6 授業で友達とおしゃべりするときがある	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
7 ノートを写したり、文字を書くことが好きだ	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
8 数学の計算が好きだ	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
9 グループ活動が好きだ	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
10 実技や実習が好きだ	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
11 整理整頓が好きだ	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
12 宿題や課題を提出している	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
13 教室にいると、落ち着く	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
14 得意な教科は何ですか	国語 英語 理科		
15 苦手な教科は何ですか	数学 算数		
16 学習で心配なことは何ですか	ノルマ、授業のスピード、先生の話		
部活			
1 休まず真面目に活動している	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
2 先輩として後輩にやさしく声をかけている	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
3 技能や精神面の向上を感じる	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
家庭			
1 お手伝いをしている	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
2 家庭でスマホ等の使い方についてルールが決まっている	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
3 スマホ等の使用時間が守れないときがある	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
4 スマホ等の使用時間が長くて、授業中に眠いときがある	<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> とまどき	<input type="checkbox"/> いろいろ
進路			
1 進学はこの高校を考えていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 進学 高校		
2 その理由は何ですか	この高校は毎日楽しく過ごせるから バスケ部、運動部 卒業後の進路		

3. ふりかえり

- ・生徒が主体的に楽しく学ぼうとする意欲を持ち、協働的な学習を通して、わかったことやよるこびをみんなで共有できる自立活動の時間になりたい。個人の学びが集団の学びになり集団の学びが個人の学びにつながる。今後もこのような学び合いの場を多く設定し、成功体験を味わうことで自尊感情を高めていきたい。
- ・自立活動の時間は生徒からの学びも多く、教師としての成長にもつながると感じる。生徒といっしょに会話を楽しみ、ともに協働し学び合う姿勢を持ち続けたい。
- ・「生活の振り返り」は始めて数カ月なので今後も継続していきたい。またフリートークや日頃の会話を通して励ましの言葉をかけながら、自尊感情の高揚につなげていきたい。

最後に

まず「学び合い」のためには、自分の考えや意見を持ち、集団としてその意見を受け入れる集団の風土づくりが不可欠である。生徒の主体性を大切に、自尊感情を高めるための自立活動のあり方を日々研究していきたい。

【参考文献】

- 放送大学教材 特別支援教育 基礎論 2020
放送大学教材 特別支援教育 知的障害教育 2020